

JCES ニュース

Japan Comparative Education Society

NO.36

第 55 回大会のご案内

第 55 回大会準備委員会委員長 岡田 昭人

日本比較教育学会第 55 回大会は、本年 6 月 7、8、9 日に東京外国語大学で開催いたします。学会創設 55 年目の記念すべき大会を本学で開催する運びとなりましたこと大変光栄なこと受け止めております。

東京外国語大学での開催は今回が初めてとなります。東京多摩地域の府中市に立地するキャンパスは静かで豊かな緑に包まれ、ドラマや映画のロケ等でよく使われる美しい環境にあります。近隣には「暗闇祭り」で有名な大国魂神社、2020 年東京オリンピック・パラリンピック会場味の素スタジアム、歌に出てくる「ビール工場」など観光スポットがたくさんあります。

第 55 回大会では、6 月 7 日（金）にラウンドテーブル、常任理事会、全国理事会が開かれます。翌 8 日（土）、9 日（日）の日程は次の通りとなります。

6 月 8 日（土）午前：自由研究発表Ⅰ、午後：公開シンポジウム・総会・情報交換会

6 月 9 日（日）午前：自由研究発表Ⅱ、午後：課題研究Ⅰ・Ⅱ

公開シンポジウムは、「多言語・多文化教育社会のゆくえ」をテーマとし、多言語・多文化社会の到来に向けて大学・地域社会・行政の教育的取り組みや支援のあり方を広く参加者の皆様に知って頂き、また現在直面する課題と今後の協働施策について考える場所にしたいと思います。課題研究Ⅰでは「グローバル時代における言語・文化教育」（仮）というテーマを設定し、課題研究Ⅱでは研究委員会によって「比較教育学におけるボーダースタディーズの可能性—国境・境界地域に生きる子どもたちとその教育—」（仮）が企画されています。

大会会場ですが、自由研究発表やラウンドテーブル、総会、課題研究は、研究講義棟で行われます。公開シンポジウムはアゴラ・グローバルのプロメテウスホールです。

また、8 日（土）夜の「情報交換会」は東京外国語大学ならではの民族歌謡・舞踏、また学会員による様々なパフォーマンスが予定されております。より多くの会員の方々に参加して頂けるよう特にその準備に力を注いでおります。

最後に、ウェブ上での参加・発表申し込み、発表要旨の登録などは、今回も同様です。また、経費節減のため、引き続き、会員の皆さまへのプログラムの郵送は控えさせていただき、ウェブ上からダウンロードして頂くこととなります。他方、発表要旨集録につきましては、例年どおり冊子体で大会当日に配布する予定です。

大学施設の利用状況により、例年の大会よりもやや早い開催となりますが、「GO! GO! (55 回) 記念大会」の意気込みで参りたいと思います。

大会準備委員会一同、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

■日本比較教育学会第55回大会のご案内・お知らせ

● 第55回大会のご案内（詳しくは、大会案内および学会HPをご覧ください）

1. 大会日程

2019年6月7日～6月9日

	9:30	12:00	13:00	15:00	17:00	18:00	20:00
6月7日 (金)			常任理事会	全国理事会		ラウンドテーブル	
6月8日 (土)	自由研究発表Ⅰ	自由研究発表Ⅱ	公開シンポジウム		総会	情報交換会	
		紀要編集委員会					
6月9日 (日)	自由研究発表Ⅲ	自由研究発表Ⅳ	課題研究Ⅰ・Ⅱ				

*時間帯は概要を示しています。

2. 大会会場・宿泊・昼食など

- ・大会会場は、東京外国語大学府中キャンパス（東京都府中市朝日町3-11-1）となります。
キャンパス案内：<http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/contactus/campusmap.html>
- ・宿泊は各自でご予約ください。
- ・昼食は、大会開催期間中は、食堂は営業していません。近くのコンビニまたはレストランをご利用ください。とくにお弁当の準備はいたしませんことをご了承ください。
- ・授乳室およびお子様連れの会員のための共同のスペースを設ける予定です（但し、教室の確保が難しい場合は、そうしたスペースを設けることができない可能性があることをご理解ください）。なお、大会事務局では託児サービスを行いませんので、お子様連れの場合は個々でご対応をお願いいたします。

3. 大会当日までの主な日程

2019年3月1日（金）	発表申込受付開始 / 参加申込受付開始
2019年4月4日（木）	発表申込締切
2019年4月8日（月）	発表要旨提出開始
2019年4月22日（月）	発表要旨提出締切
2019年4月24日（水）	大会プログラム集PDFのウェブ公開
2019年5月20日（月）	大会事前参加申し込み・事前支払い締切 ※申し込み完了メールにて振込先の案内を行います。窓口・ATMでは15時までに支払いが必要ですので、お早めをお願いします。
2019年5月28日（火）	発表要旨集録PDFのウェブ公開（大会参加費事前支払い済みの方のみ）

日本比較教育学会第55回大会準備委員会 連絡先

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学大学院・岡田昭人研究室気付
日本比較教育学会第55回大会準備委員会宛
E-mail：jces55tufs@gmail.com

● 紀要編集委員会

委員長 澤村 信英

紀要編集委員会では事務局の引き継ぎが行われ、『比較教育学研究』第59～61号までの編集を大阪大学で担当させていただいております。第59号の編集作業は、現在、自由投稿論文の審査を進める一方、特集や書評・文献紹介の準備を進めています。投稿に際しましては、「論文投稿チェックシート」を必ず一緒にご提出いただくことになっております。執筆に際しては、投稿要領に沿っているか十分に確認したうえでご投稿くださいますようお願いいたします。第60号の投稿締め切りは2019年7月20日(当日消印有効)です。ただし、査読・編集作業に支障をきたすほど到着が遅れた場合、当日消印であっても受け付けられない場合がございます。特に海外から投稿される場合、ご注意願います。編集委員会事務局への問い合わせ、宛先は下記のとおりです。ご投稿、お待ちしております。どうぞよろしくお願いたします。

【原稿提出・連絡先】

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-2
 大阪大学大学院人間科学研究科
 澤村信英研究室気付
 日本比較教育学会紀要編集委員会事務局 宛
 Tel: 06-6879-8101 (澤村研究室)
 Fax: 06-6879-8064 (国際協力学研究分野)
 Email: jces.handai@gmail.com

● 研究委員会

委員長 森下 稔

山内乾史前委員長の企画により、『才能教育の国際比較』(2018年12月15日刊)と『若手研究者必携 比較教育学の研究スキル』(2019年1月20日刊)がいずれも東信堂より出版されました。前者は大会における課題研究Ⅱの成果を基にしたもの、後者は若手研究者支援のために取り組んだラウンドテーブル企画を基にしたものです。いずれも、大会時の内容をさらに充実させたものになっています。

現在の研究委員会では2つの学会科研を推進しています。通称を決めて区別するようにしています。基盤研究(A)「境界研究の分析法を用いた国境・境界地域における基礎教育に関する国際比較研究」(代表:森下稔、2018-2021年度)は、「ボーダー科研」です。基盤研究(C)「アセアン諸国のOOSCYに

対する国際教育支援ネットワークに関する研究」(代表:乾美紀、2018-2020年度)は「オッシー科研」です。

2019年第55回大会では、「比較教育学におけるボーダースタディーズの可能性—国境・境界地域に生きる子どもたちとその教育—(仮)」と題して課題研究Ⅱを企画・開催します。ボーダー科研の目的と意義をご紹介し、ボーダースタディーズ(境界研究)を比較教育学で展開させていこうとするこの可能性を議論する場にしたいと考えます。そのためにも、日本におけるボーダースタディーズの第一人者として、中公新書に『入門国境学』の著書がある岩下明裕氏(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター境界研究ユニット教授)を基調講演者としてお招きし、ボーダースタディーズとは何かを中心に、理論的かつ実践的な観点から論じていただきます。そして、ボーダー科研の初年度の調査報告を数件ご報告します。調査研究の端緒についたばかりで、試行錯誤の最中ですが、それぞれ興味深いエピソードばかりです。胎動期の比較教育学におけるボーダースタディーズに是非ご関心をお持ちいただきますように、会員のみなさまにご案内申し上げます。

同じく第55回大会では、若手研究者支援事業として連続企画で実施しているラウンドテーブル「比較教育学を学ぶ人のためのアカデミック・キャリアシリーズ」を企画します。2回目となる今回は、「大学院時代をどう過ごすか・どう乗り切るか(仮)」を副題に掲げます。大学院生やポスドクとして、留学や学位論文執筆、就職に活かすための業績づくりと、比較教育学研究者としてのキャリア形成をどのようにデザインするべきなのかがテーマです。所期の就職を達成したばかりの会員が提案者となり、キャリア形成のリアルを浮き彫りにする機会とします。

● 世界比較教育学会(WCCES)理事会報告

会長 杉村 美紀

世界比較教育学会(WCCES)は、2019年1月14日に、ジュネーブにあるUNESCO International Bureau of Education(UNESCO-IBE)において第54回理事会を開催しました。今回は、前回2018年6月に行われた南アフリカ・ヨハネスブルクでの第53回理事会および第1回WCCESシンポジウムに次ぐ理事会開催となり、前回同様に、1月14日午後と15日には第2回WCCESシンポジウムが同時開催されました。JCESからは杉村が参加しました。

■各種委員会からの報告とお知らせ



WCCES 54th EC Meeting (January 14, 2019, Genève)



WCCES Symposium (January 15, 2019, Genève)

理事会では、N' Dri T. Assié-Lumumba WCCES 会長挨拶および前回議事録承認のあと、会長からの活動報告、決算及び予算の承認、2019年 WCCES 大会準備状況報告、新メンバー入会審議、各委員会からの報告がなされました。会長からは現在、WCCES 大会の開催時期とあり方、事務局の常設化(候補先として UNESCO-IBE と交渉中)の検討が進められていることが報告されました。また継続審議となっていた WCCES の事務局長の英語名称 (Secretary-General) について変更する方向で話し合われました。2019年5月にメキシコ・カンクンで予定されている WCCES 大会については、大会実行委員会 Perez Centeno 副委員長より進捗状況が報告され、発表申し込みが3月1日まで延長されたことを含め情宣依頼がありました。さらに、新メンバー加入審議委員会の報告に基づき、Mondial Association for Peace by Comparative Education (MAPE) ならびに Sociedad Iberoamericana de Education Comparison (SIBEC) の2団体の新規加盟が承認されました。この他、各委員会報告のなかでは会長選挙の準備が進んでいることなどが報告されました。

同時開催された第2回 WCCES シンポジウムは、“Immigrants and Comparative Education: Call to Re/Engagement” というテーマで開かれ、ポルトガルのユネスコ大使 Dr. António Manuel Seixas Sampaio da Nóvoa (リスボン大学教授) が “Migration, displacement and education: Looking beyond the 2019 GEM report” というテーマで基調講演を行った他、28の研究発表が行われました。参加者はおおよそ70名で、日本からも小職の他、3名の参加があり、移民、難民、避難民、外国人労働者、留学生等様々な角度から Migration と教育に関わる活発な議論が行われました。

● 国際交流委員会

委員長 黒田 一雄

国際交流委員会では、現在学会のホームページにあります「世界の比較教育学会関連リンク」をさらに充実させ、会員の皆様の比較教育学研究並びに講義や学生の研究指導に活用できるような Web リソースのリンク集を構築することを目指して作業を行っております。もし、このようなリンク集に掲載すべき海外の比較教育学研究の動向や比較教育学関連データに関する Web サイトについての情報がありましたら、国際交流委員会の黒田一雄 (kakuroda@waseda.jp) までぜひお寄せ下さい。

また、今年是世界比較教育学会 (WCCES) が5月20~24日の予定でメキシコ・カンクンにおいて、世界教育学会 (WERA) が8月5~8日の予定で東京大学及び学習院大学を会場にして開催される予定です。会員の皆様の積極的なご参加を期待しております。

● 教育関連学会協議会

担当理事 澤野 由紀子

69の教育関連学会により構成される教育関連学会連絡協議会では、来年度の計画として大型予算を使った企画を立てることが懸案となっています。2019年8月に東京大学および学習院大学において開催される世界教育学会 (WERA) への積極的参加の呼びかけも行っています。2019年3月16日(土)には、学習院大学南3号館301教室において第7回総会が開催され、終了後「教育学教育のあり方と教職課程コアカリキュラムの再検討—教育学分野の参照基準の作成に向けて—」をテーマとする公開シンポジウムが開催されます。詳細は、以下の教育関連学会連絡協議会のウェブサイトをご覧ください (<http://ed-asso.jp>)。多くの皆様の参加をお待ちしております。

■お知らせ

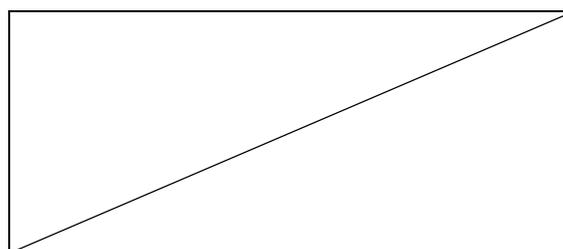
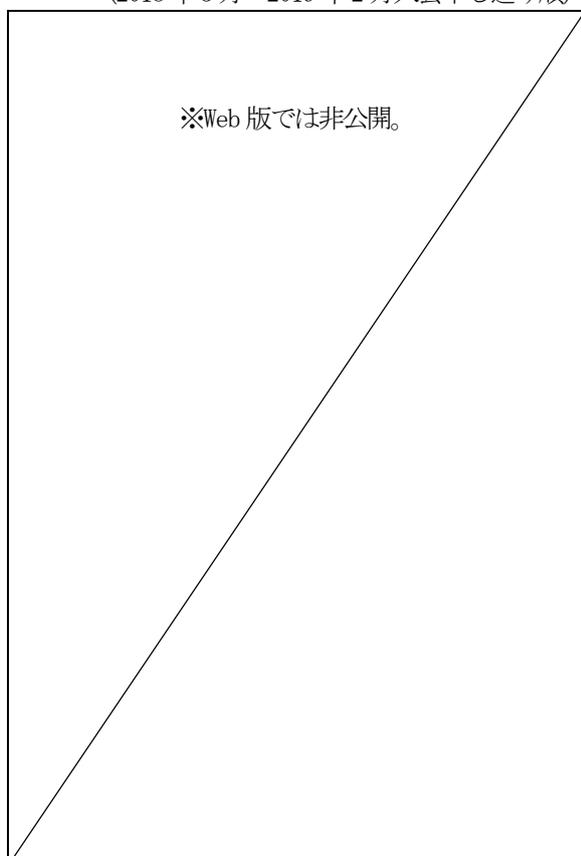
● 学会への寄贈図書紹介

以下の図書を、著者・出版社より本学会にご寄贈いただきました。厚くお礼を申し上げます。なお、紀要および研究報告書の寄贈については、数量多数のため、掲載を割愛させていただきます。ご了承ください。

- ・ 興津妙子・川口純（編著）『教員政策と国際協力——未来を拓く教育をすべての子どもに』明石書店、2018年。
- ・ 長岡智寿子『ネパール女性の社会参加と識字教育——生活世界に基づいた学びの実践』明石書店、2018年。
- ・ 日本教師教育学会（編）『教師教育研究ハンドブック』学文社、2017年。
- ・ 橋本憲幸『教育と他者——非対称性の倫理に向けて』春風社、2018年。
- ・ 村田翼夫編著『東南アジアの教育モデル構築』学術研究出版、2018年。
- ・ 山内乾史編著『才能教育の国際比較』東信堂、2018年。
- ・ 山内乾史編著『比較教育学の研究スキル』東信堂、2019年。

● 新入会員

(2018年3月～2019年2月入会申し込み順)



(2019年2月16日現在の会員数：983名)

● 年会費納入のお願い

年会費納入状況をご確認いただき、未納分がある方は下記の口座へ早めのご納入をお願いいたします。紀要は年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

〔郵便振替口座〕00820-6-16161

日本比較教育学会事務局

【注意】

- ◇ 所属機関名にて振込を行われる場合は、該当会員を特定することが難しいため、必ず事務局へご連絡をお願いします。
- ◇ 「学生会員」として登録されている会員で、所属・身分等の変更により「学生」でなくなった方は、会員情報管理システムにて通常会員へ資格変更の上、通常会員としての年会費（10,000円）をお支払いください。

図書・刊行物の送付、学会運営に関する連絡

〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1
上智大学グローバル教育センターB1
日本比較教育学会事務局（丸山研究室）
E-mail : jcesjimu@outlook.jp

会員情報、入退会、会費、システム、HPIに関する連絡

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1-4F
ガリレオ学会業務情報センター内
日本比較教育学会事務局
Tel : 03-5981-9824 Fax : 03-5981-9852
E-mail : g020jces-mng@ml.gakkai.ne.jp
URL : <http://www.gakkai.ne.jp/jces/>

■日本比較教育学会事務局より

別途、添付ファイルにて、また例年通り後日郵送でも大会案内をお送りいたします。ご確認のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。